



3.11 の今がわかる会議 in 東京

～東日本大震災の今と関わり方を考える～



2019年 9月9日 (月)

13:30～18:00

(受付 13:00)



TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンター ホール 12A

東日本大震災の今を知り、関わりを考えることが、日本の未来を創り、今、日本各地で起きている災害復興の希望となる。東北からの多彩なゲストに加え、東京のゲストと一緒に東日本大震災で起きていることを一緒に考えませんか。

【プログラム】

- オープニング
- 1部：話題提供とパネルディスカッション
 <テーマ> 孤立・孤独をいかにして地域で見守るか。
- 2部：各県からの報告
 <テーマ>
 岩手県：3.11の経験を次世代へ繋ぐ～岩手からの恩送り～
 宮城県：津波が子どもに与えた影響と子どもを軸とした地域づくり
 福島県：避難指示解除区域の現状と課題
- クロージング



東京都中央区八重洲 1-8-16 新榎町ビル
(東京駅八重洲中央口徒歩1分)

- 定員：100名
- 申込方法：JCN ホームページより
(<http://www.jpn-civil.net/>)



こちらからも
お申込みいた
だけます



主催：東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)
 共催：東京ボランティア・市民活動センター
 助成：復興庁コーディネート事業

<お問合せ先>

東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)
 office@jpn-civil.net



東日本大震災支援
全国ネットワーク

3.11 の今がわかる会議 in 東京

1 部：登壇者

岩手

東梅 麻奈美 さん (NPO 法人ワーカーズコープ大槌地域福祉事務所 所長)

2012 年ワーカーズコープに入団。富山県の共生型福祉と出会い、これまでの制度や福祉施設よりも人が自然にふれ合い過ごす場所について考える。通所介護、学童保育、日中一時支援事業の共生ホームを 2016 年に開所。地域のサロンや子ども食堂などにも通る。支援する場所ではなくお互いが支えあえる居場所作りを目指す。



新井 信幸 さん (NPO 法人つながりデザインセンター・あすと長町 副代表理事)

川崎市出身 1972 年生まれ。本職は東北工業大学工学部建築学科の研究者。住宅困窮者のための居住支援、住宅ストックの活用方策等について研究。震災後は、復興コミュニティ・デザインに関わる実践的な研究に取り組む。

宮城

福島

米倉 一磨 さん (NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会(相馬広域心のケアセンターなごみ) センター長)

元航空、陸上自衛官。10 年間精神科病院で看護師として勤務。震災発生後、福島県立医科大学心のケアチームボランティア(精神科の震災支援チーム)に相双保健福祉事務所の職員として参加。2012 年より相馬広域こころのケアセンターセンター長、精神科認定看護師。著書に岩波書店「災害看護と心のケア～福島『なごみ』の挑戦～」



森田 眞希 さん (NPO 法人地域の寄り合い所 また明日 代表)

2006 年 6 月、夫婦で NPO 法人地域の寄り合い所「また明日」設立、代表理事に就任。同年 12 月、「小さな保育園虹のおうち」、「寄り合い所」、「また明日デイホーム」、2015 年に認可保育「また明日保育園」の事業を一つ屋根の下で行う。東日本大震災では石巻市の福祉避難所を中心に介護支援やボランティアのコーディネートを行う。

東京

2 部：登壇者

岩手



菊池 のどか さん

株式会社かまいし DMC 地域創生事業部/いのちをつなぐ未来館職員

1995 年 7 月 20 日、岩手県釜石市橋野町生まれ。釜石市立釜石東中学校 3 年生の時に、東日本大震災が発生した。小学生と一緒に 1.6km 先の峠へと避難し助かった。高校・大学と語り部活動を行ってきた。また被災地、未災地関係なく、同世代が「災害」について、「いのち」について、考え自由に語り合う場作りを行ってきた。

宮城



天澤 寛子 さん

NPO 法人浜わらず事務局

1979 年生まれ。気仙沼出身。幼いころから、海が遊び場であり、海に育てられた生粋の浜っこ。NPO 設立当初から運営に携わり、日々子どもたちと自然を駆け巡っている。2 児の母でもあり、たまにラジオ DJ にもなる。一日一笑をモットーに日々過ごしている。

福島



横山 秀人さん

一般社団法人いいたてネットワーク代表理事

福島県飯舘村生まれ。49 歳。子 2 人。福島第一原子力発電所事故時は、飯舘村役場職員。放射能測定、避難先確保、仮設入居等を担当。平成 26 年に役場を退職し行政書士事務所を開業。村民の損害賠償請求の資料作成支援等を行う。現在は、いいたてネットワークの代表として村民交流活動(3 年目)を主に避難先で実施している。

<お問合せ先>

東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)

office@jpn-civil.net



東日本大震災支援
全国ネットワーク